STOP!転倒



~ あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて~

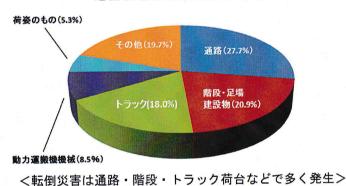
陸運業の<mark>転倒災害</mark>は墜落・転落に次いで多く、その割合は増加傾向にあります。

その特徴は、次のグラフのとおりです。次頁のチェックシートなどで安全な作業の徹底を図りましょう。 (資料:厚生労働省「労働災害発生状況」「労働災害データベース(H21~H23年)」)



転倒災害の月別発生割合 15% 12.1% 10.8% 8.8% 8.1% 8.0% 10% 6.9% 7.0% 6.8% 7.7% 5.8% 5% 0% 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 <転倒災害は冬期に多く発生>

起因物別転倒災害発生件数



0%

年代別転倒災害の割合 20% 17.4% 16.4% 12.9% 12.9% 11.1% 10% 30代 40代 50代 60代 70代 20代 <高年齢者ほど転倒災害の割合が多い>

陸運業の現場ではこのような転倒災害が起きています

災害発生事例

倉庫内に荷物を搬入中、倉庫出入 口に置いてあったパレットに気が付 かず、足を取られて転倒した。

足首の骨折



災害発生事例 2

トラックからの荷卸し作業中、荷台 から飛び降りた際に、足をひねり転 倒し手をついた。

手首の骨折



災害発生事例 3

トラック荷台を片付けていたところ、 台木につまずいて転倒。荷台にあ るチェーンブロックに足を引っかけ て負傷した。

足の骨折





こんなところにも転倒の危険が!

輪留め等の突起物



通路の凹凸



スロープ



階段



マット





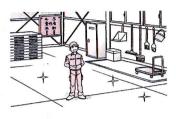
一 陸上貨物運送事業労働災害防止協会

ここが肝心!

4 S (整理・整頓・清掃、清潔) を徹底しましょう!

本来そこに無いはずの障害物によって災害が起こった場合、これは人災と言っても過言ではありません。社員教育で4Sを徹底し、障害物に人が触れることがない安全な職場作りを心掛けましょう。





ここが肝心!

長時間運転した後はストレッチを行いましょう!

長時間の運転後は、股関節の機能が低下することにより、運転席から降りる際や、降りた後に転倒するリスクが高まります。また、加齢とともに股関節が固くなったり、周囲の筋力が低下し、バランスを崩しやすくなります。長時間運転した後は、ゆっくり降り、ストレッチをしてから動きましょう。





あなたの職場は大丈夫?転倒の危険をチェックしてみましょう 転倒災害防止のためのチェックシート

【厚生労働省「職場での転倒事故を減らしましょう!」リーフレットより】

チェック項目		1
1	身の回りの整理・整頓を行っていますか 通路、階段、出口に物を放置していませんか	9
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度 取り除いていますか	
3	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す 標識をつけていますか	
4	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が 確保されていますか	
5	ヒヤリハット情報を活用して転倒しやすい場所の 危険マップを作成し、周知していますか	
6	職場巡視を行い、通路、階段などの状況をチェック していますか	
7	荷物を持ちすぎて足元が見えないことはありませんか	
8	ポケットに手を入れながら、人と話しながら、携帯電話 を使いながら歩いていませんか	
9	作業靴は、滑りにくさを考えて選んでいますか	
10	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れて いますか	

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります!